

(別紙様式1)

あいさつ運動の事例

倉敷市立大高小学校

(児童数1067名 教職員数93名)

倉敷市立大高小学校 挨拶運動「自分から進んで気持ちよく」

アピールポイント

○ 毎月第一月曜日には、児童会代表だけでなく民生委員・児童委員の方々が揃いのオレンジのベストと帽子を身につけ、3か所ある校門に立って元気よく挨拶運動をしています。また、「おやじの会」のメンバーが月に1, 2回校門に立つだけでなく、自分の地区から児童とともに歩いている挨拶運動・登校見守りをしています。さらに、地域ボランティアが、学校で用意した帽子をかぶって家の近くでの挨拶運動や見守りをしています。近くを通る中高生や地域の方とも気持ちのいい挨拶を交わしています。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

登校している途中の挨拶はまだまだであるが、学校近くや校内では自分から進んで挨拶できる児童が増えてきている。

■活動内容

毎月第一月曜日の民生委員・児童委員による挨拶運動、不定期ではあるがおやじの会による毎月1, 2回の挨拶運動に児童会の代表児童が加わって活動している。さらに、地域のボランティアによる挨拶・見守りもしている

■取組の参加メンバー

全児童・教職員、民生委員、おやじの会、地域ボランティア

■成果・効果

今までは地域の方が声かけをしても、児童が不審がることもあったが、揃いの帽子をかぶり笑顔での声かけに児童も安心して挨拶・返事ができつつある。顔見知りになることにより、校内で出会ったときに「こんにちは」と挨拶できる児童が増えている。児童の約8割が通る西門では、近所の方や通勤通学途中の方とも挨拶ができるようになってきている。明るく元気に気持ちよい挨拶が交わせるよう、今後ともできることから取り組んでいきたい。